

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年1月25日(水) 13:30~16:00
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 校長室
開催にあたり、委員による授業参観(課題研究発表会)を実施した。
- 4 参加者

会 長	山田 雄治	朝日大学経営学部 教授
副会長	栗田 恵世	J P コーチ&コンサルティング(株) 代表取締役
委 員	岡野 智生	大垣市開発町 自治会長 (欠席)
	近藤 伸子	和合地区 民生委員
	青山 珠子	本校PTA 副会長
	池戸 美奈子	本校PTA 会計監査 (欠席)
	箕浦 之治	大垣観光協会 専務理事
	石坂 信一郎	岐阜協立大学 副学長
	山田 康雄	大垣西ロータリークラブ インターアクト委員長
	正田 嗣文	大垣ビジネスサポートセンター センター長
学 校 側	野田 正明	校長
	高木 裕直	副校長
	小森 妙子	事務部長
	岡戸 邦仁	教頭
	豊吉 利之	教頭
	瀬瀬 サオリ	教務主任(全日制)
	井村 仁美	教務主任(定時制)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 地域と連携した教育活動に関する事項について

- ・本年度の地域連携に係る取組及び本日の課題研究発表会について報告

意見1:観光分野の発表では、地域の環境、ターゲットィング、収支計算等、生徒自身で論理的に構築を行っており、地元の課題解決につながるのではないかと。

意見2:外部機関と連携しながら取り組んでいる様子が本日の発表から伝わってきた。この取組により、本校がどのような人材を育成しようとしているか、生徒が地域でどのような人材になろうとしているかが伝わってくるとより良いものとなる。

意見3：生徒がICTのスキルを身に付けていることがすばらしい。日本の雇用制度は年功序列型からジョブ型へと移行しつつあり、個が評価される社会になってきている。グループで活動する中で、個人の頑張りをどのように評価するのが重要となる。

意見4：会計科の発表では、収支計算のシミュレーションの数字が想像の域を超えていないが、このようなレベルまで取り組んでいることがすばらしい。

意見5：保護者の立場として、コロナ禍で教育活動が制限される中、地域の支援を受けながら発表会を開催できたことが何より喜ばしい。

(2) 自己評価・学校関係者評価に関する事項について

・自己評価について報告

意見1：コロナ禍で心の病などで学校に登校できない児童生徒が増えてきている。スクールカウンセラー等の専門家を活用して、早い段階で心のケアを行うことが重要である。

意見2：資格取得は商業高校生の強みとなる。社会が求める資質・能力の観点から挑戦する資格を精選するとともに、資格を取得する意義を理解させて取り組ませるとよい。

意見3：外部機関との連携は、生徒が社会とつながることにより、社会性を育み人間としての幅が広がるため、今後も是非継続して取り組んでほしい。

意見4：全ての教員が公開授業を実施しており、授業力向上につながっている。

意見5：コロナ禍において、オンライン授業などにより学習機会を提供してもらえることは大変ありがたい。また、きめ細かい進路支援により、現時点でほとんどの生徒の進路が決定しており感謝している。進路未決定の生徒には、引き続き生徒に寄り添った指導をお願いしたい。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、これまでの地域連携の授業を踏まえ、各学科による課題研究発表会を参観し、今後の地域連携の在り方について、様々な立場から意見が得られた。
- ・学校評価に対する意見も踏まえ、今後の学校運営の改善に役立てたい。